
学校生活全般に関するQ&A

《全 般》

質問1 学校の規模はどれくらいですか。

回答1 生徒総数は約1,250名、各学年とも10クラスです。教職員は、部長(校長)ほか専任教諭 65 名(うち4名はネイティブスピーカー、1名は養護教諭)、講師38名、校医1名、歯科校医1名、カウンセラー3名、看護師3名、事務室および図書室などの事務職員約20名です。

質問2 学期制はどうなっていますか。

回答2 1学期、2学期、3学期の3学期制です。

質問3 学校は何時に始まりますか。

回答3 1年を通じて、授業開始は8:15です(予鈴は8:10)。

質問4 制服はありますか。

回答4 あります。詳しくは、本校ウェブサイトまたはスクールガイドをご覧ください。

質問5 クラス編成はどうなりますか。

回答5 一般入試・推薦入試・帰国生入試および中等部からの内部進学による入学者が、ほぼ同じ比率で10クラスに分かれます。1クラスの生徒数は約42名です。

質問6 文系・理系のクラス分けはありますか。

回答6 文系・理系のクラス分けはありません。各自が希望進路に沿った選択科目を履修します。

質問7 土曜日の授業はありますか。

回答7 授業週5日制を採用しています。土曜日の授業はありませんが、バレーボール大会や文化祭などの行事、学問入門講座などを行っています。

質問8 奨学金制度はありますか。

回答8 奨学金には複数の種類があります。経済的に修学が困難な生徒、または人物・学業が優秀な生徒などを支援するための奨学金などがあり、それぞれ応募資格が異なります。また、奨学金ごとに給付(返済不要)もしくは貸与(返済必要)の種別も異なります。奨学金の参考情報につきましては、スクールガイド 30 ページをご覧ください。

《施設》

質問1 高等部の施設にはどのようなものがありますか。

回答1 HR教室や特別教室がある西校舎・北校舎、礼拝や集会などで使用するPS講堂、カフェテリア、体育館棟（メインアリーナ、サブアリーナ、プレイルーム、柔道場、トレーニングルーム）、部室棟、グラウンド（中等部と共有）、テニスコートがあります。

また、校外施設として軽井沢追分に青山学院高等部追分寮を持っており、生徒会研修会やグリーンキャンプ、クラブ合宿、HR旅行などで使用しています。

質問2 生徒が使えるシャワールームはありますか。

回答2 あります。

質問3 大学の施設は使えるのですか。

回答3 大学図書館には生徒証を提示すれば入館でき、所定の手続きにより蔵書を閲覧することが可能です。また、大学購買会・大学学生食堂も利用できます。

質問4 高等部専用の食堂はありますか。

回答4 高等部生専用のカフェテリアがあります。また、大学食堂も利用できます。ただし、基本的にはできるだけ弁当を持参して、教室で昼食をとることを勧めており、実際に多くの生徒がそのようにしています。（2021年7月現在、カフェテリアは休業）

《学習》

質問1 教育課程(各学年のカリキュラム)はどのようになっていますか。

回答1 本校のカリキュラムの特徴は、学年が上がるごとに増える選択科目の多さです(1年次2単位、2年次7単位、3年次15単位)。選択科目などについて、詳しくは本校ウェブサイトまたはスクールガイドをご覧ください。

質問2 定期試験はどれくらいありますか。

回答2 1・2年生は1・2学期にそれぞれ中間試験および期末試験があり、3学期には期末試験のみが行われます。3年生は、1学期に中間試験および期末試験があり、2・3学期はそれぞれ期末試験のみが行われます。

質問3 定期試験の成績が不振な場合、補習などは行われるのでしょうか。

回答3 英語は、1年生の1学期中間試験の成績が振るわなかった生徒に対し、放課後に補習を行っています。その他の教科に関しては、教科担当者が試験前に独自に補習を設定したり、休み時間や放課後に相談ののったりしています。

質問4 塾に通っている生徒はどれくらいいますか。通塾は必要ですか。

回答4 学校の授業をしっかりと受けていれば成績に大きな心配は不要ですので、通塾が必要というわけではありません。ただし、自らの学力向上のために、一部の生徒は塾などにも通っているようです。

質問5 高等部は大学と同一のキャンパスにありますか、カリキュラムの上で大学との連携はありますか。

回答5 3年生の希望者で条件を満たした生徒が、放課後に青山キャンパスの大学の授業を4単位まで履修でき、内部進学した際に単位認定される、という制度があります。また、土曜日の午前中に青山学院の大学・専門職大学院の教員が自分の専門分野について講義をする「学問入門講座」があり、全生徒が、自分の関心のある講座を自由に選び、学問探求の面白さ、奥深さに触れ、進路選択にも役立てています。学問入門講座一覧表は、スクールガイドに掲載しております。

《クラブ活動》

質問1 クラブ活動にはどのようなものがありますか。

回答1 体育系クラブは23、文化系クラブは17(クラブ4、同好会6、特設クラブ7)あり、約85%の生徒が加入しています。詳しくは、本校ウェブサイトをご覧ください。

質問2 クラブの活動日、活動場所などを教えてください。

回答2 活動日や活動場所はクラブが個々に定めていますので、詳しくは本校ウェブサイトをご覧ください。

質問3 複数のクラブに入部することはできますか。

回答3 同好会、特設クラブのみ複数入部可能です。

質問4 クラブの活動時間は何時までですか。また、朝練は可能ですか。

回答4 授業終了後から17:30までが活動時間です(終鈴18:00)。朝練は、7:30から8:00まで可能です。

質問5 体育系クラブの体験や見学などは可能ですか。

回答5 クラブの体験や見学は行っておりませんが、学校説明会当日などに見学ができる場合があります。

《行事》

質問1 修学旅行はありますか。

回答1 2年次に修学旅行があり、3泊4日の日程で九州を訪れ、平和やキリスト教について学びます。見学地は各ホームルームで異なり、各ホームルームの修学旅行委員が中心となってホームルーム内で話し合っ決定します。

質問2 体育祭はありますか。

回答2 全員参加の体育行事は6月に行われており、伝統的にバレーボール大会を開催しています。

質問3 文化祭はありますか。

回答3 あります。例年9月に行われ、一般公開もしています(2021年度は感染症拡大防止のため、一般公開は行いません)。

《その他》

質問1 自転車通学はできますか。

回答1 学校までの自転車通学は認めていません。

質問2 通学時間の制限はありますか。また、在校生はどのような地域から通学していますか。

回答2 通学時間に制限は設けていません。在校生は、概ね30分から1時間程度の通学時間ですが、近県からの通学者もおり、1時間半前後の通学時間がかかる生徒もいます。

質問3 携帯電話の持ち込みは許されていますか。

回答3 持ち込みは許可していますが、8:10(予鈴)から授業終了までは電源を切りロッカーへ入れて施錠し、放課後まで取り出し不可です。

質問4 アルバイトや、自動車・オートバイの免許の取得は禁止されていますか。

回答4 禁止はしていません。保護者のご判断に任せています。

質問5 規模の大きな学校であるため先生が目が行き届かない、といったことはありませんか。

回答5 そのようなことがないよう努力しています。ホームルーム担任・学年配属の教諭からなる学年会があり、連絡協議会・生徒会顧問会・クラブ委員会・各種委員会の担当教諭が協力して生徒の日常の学校生活を見守っています。また、クラブ活動については教諭のほか、外部指導者(社会人・大学生)も監督・コーチとして技術指導にあたっています。

質問6 生徒の健康管理の体制はどのようになっていますか。

回答6 校内保健室には養護教諭が常駐しています。4月には定期健康診断を行います。自分の「からだ」「こころ」を守るためのお手伝いをしています。また、臨床心理士の資格を持つカウンセラーも常駐して学校生活全般に対応しています。

質問7 不登校など心のケアを必要とする生徒の指導はどのようにしていますか。

回答7 相談室には3名のカウンセラーが交代で常時勤務しており、生徒だけではなく保護者の方からの相談にも応じています。普段からカウンセラー・養護教諭が連絡を密にとり合い、問題解決のための努力をしています。

質問8 地震等の天災への対応(校舎の耐震化・備蓄品・保護者への連絡)は、どのようになっていますか。

回答8 校舎は耐震構造になっています。備蓄品については、校内に非常用の飲料水および食料等を用意しています。また、保護者への連絡については、メールでの一斉連絡システムを導入しています。また登下校中の災害に対しても、他校と連携をとって対応します。

質問9 保護者会あるいはホームルーム担任との面談は、年間にどれくらいありますか。

回答9 行事予定として設定されている保護者会は5月に1回あります。ホームルーム保護者会や担任との面談は適宜行っています。

質問10 海外留学制度やホームステイなどはありますか。

回答10 公的非常利留学斡旋団体(AFS、YFU、IF、国際ロータリークラブなど)の選考試験に合格して海外留学する生徒が毎年15～20名程度います。留学の種類には、第1種留学と第2種留学があります。第1種留学は、1年間の留学の後に元の学年に戻れる制度で、第2種留学は1年下の学年に復学する制度です。

また、英国ケンブリッジのリーススクール、イタリアのレニャーニ校との間で姉妹校提携し、それぞれ数名の生徒が2週間程度の短期交換留学を行っています。その他、夏休みには学校主催でカナダのトロント市郊外のベリー市へのホームステイが行われています。(2020-2021年度は感染症拡大の状況から一部プログラムを中止しました)

質問11 芸能活動はできますか。

回答11 禁止はしていませんが、学校としては、学業はもちろんのこと、さまざまな学校行事やLHR、生徒会活動、クラブ活動などの学校生活を第一に考えてほしいと思います。したがって、それが守られないような芸能活動は認めていません。